

第12期 松戸市緑推進委員会
第11回 委員会

1. 日時 令和6年6月24日(月) 10:00~10:40
2. 場所 松戸市役所 市民サロン (新館5階)
3. 出席者

○緑推進委員

柳井重人・平岡 考・高橋盛男・藤田博美・藤田 隆・上野義介・並木能子・河野芳久

○松戸市

小倉慎一	(街づくり部部長)
保木正継	(街づくり部審議監)
布施 優	(公園緑地課課長)
飯沼 修	(21世紀の森と広場管理事務所所長)
小澤克彦	(みどりの愛護のつどい担当室)
高橋博巳	(みどりの愛護のつどい担当室)
福田勝彦	(みどりと花の基金理事長)
田辺久人	(みどりと花の基金事務局長)

○兼事務局(みどりと花の課)

三末容央(課長)・木原 茂(補佐)・中山 茜(主査)・今井涼太(技師)・日笠朋美(技師)・
岩田 昇(主査)

○傍聴 0名

事務局より本委員会の成立について、委員人15名中8名の出席により成立している旨報告あり。

4. 議事次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - 1) 議事要録の確認
 - 2) 委員会の提言および活動報告について
 - 3) その他

3連絡事項

4閉会

議事1) 議事要録の確認について

会長

事前に送付した第10回委員会の議事要録について異議はあるか。
無ければこれを以て議事要録とする。

——承認——

議事2) 委員会の提言および活動報告について

会長

議事2 委員会の提言および活動報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局

前回の委員会で頂いた意見を基に修正した「提言および活動報告書」を5月14日に皆様に送付させていただきました、再修正したものを皆様に確認していただきました。

そこで頂いたご意見については先般皆様に送付した通りでございますが、資料1の2枚目以降にまとめています。

更に、ご意見を頂き修正したものを5月24日に皆様に送付し、ご確認いただきましたが、大きなご指摘などのご意見はございませんでしたので、6月12日に柳井会長にご確認いただき、改めて修正した最終案を6月14日に皆様に送付しております。

その後、再度事務局で内容や誤字脱字をチェックしております。

修正した内容や、委員の皆さまのご意見を「資料1」にまとめていますので、ご確認ください。

会長

それでは、中身についてご確認いただいたと思います。

提言は、1ページ目をめくっていただいて、表紙の印鑑が押してあるページになります。

これがこの委員会として、市に「これをやってください」「やるべきだ」というようなことが書かれているため、一番大事になってくると思います。

そのあとのページは活動の取りまとめや結果、成果についての整理ということになります。これらが次の期に繋がるということでございます。

特に18ページが全体の提言であり、19ページでは引き継ぐ課題が記載されております。これが12期の委員会として、13期以降にも取り組んでほしいものになります。13期はこれをもとに一期2年間の中で何をやるかということになると思います。

まず、提言の表紙についてです。これを読み上げて市長に渡すこととなりますが、この内容でよろしいでしょうか。何回かやりとりさせていただき、私のところにある程度まとまってきた時点で、修正をお願いしたり、順番を入れ替えたりしました。

1つは、みどりのシティプロモーションを推進することによりみどりの関係人口を確保することです。これは特に12期でも一生懸命に取り組んで、その成果としてメッセージブックなどの様々なプロモーションに関わる対応を考えました。まだ始まったばかりのため、それを引き続き継続して欲しいということです。

続いて2番目はフォレストマネジメントの仕組みを早急につくることです。これは特に樹林地保全をどうしていくのか、12期の間に「秋山の森」が無くなることもありました。緑の基本計画でも樹林地台帳を作り、樹林地を評価して施策に展開していくことを決定しております。また、5月29日に改正都市緑地法が成立し、11、12月ぐらいに施行となりますが、樹林地保全や特別緑地保全地区に関する制度、買取り支援等の国からの補助に期待できます。

森林環境譲与税がある程度使用できる状況になっていることも含めて、近年で情勢が変化しました。

これはきちんと記載しておく必要があるため、2番目に入れています。

それから3番目はプラットフォームの構築です。行政内部での連携や民間企業との連携をどのようにしていくかが課題となっております。みどりの関係でいうと、子育て関係や他の部署でも縦割りで分断されることなく活動できるようになりました。広報に関しても連携を進められた結果「晴耕雨読」に掲載されることとなりました。

民間企業との繋がりが少し薄いこともあります。市民活動とみどり行政は松戸市内、市の他のところで頑張っていると思います。

企業という観点は、かなり前から言及していましたが、なかなか進んでいませんでした。ここをやはりテコ入れしないといけないためこの1ページ目はこのような形で整理されております。

これについて、修正等ございますか。

そうしましたら、この1ページ目をお認めいただいて、本日市長に手渡しさせていただきます。

審議会や委員会では実践することはあまりないですが、これが緑推進委員会の良い伝統で考えるだけではなく、実際に動いて感じたことを反映させて、それが生かされ様々な活動ができたのだと思います。

振り返ると花壇づくりネットワークや里やま応援団、里やまボランティア入門講座も、この委員会から生まれて、それらが派生し、様々な活動が生まれました。そのような意味では、今年試行的に行った実践をどのように繋げるかが、課題になると思います。

これらの内容やそれ以外のこと、ご意見や感想を発言していただければと思います。

委員

資料の間違いがありました。

14ページ内の写真のキャプションが「森の文化財」ではなく「オープンフォレストin松戸」だと思います。

会長

メッセージブックについてはいかがでしょうか。紆余曲折ありましたが、何とかまとめることができました。

これも発刊して終わりというわけにはいけないので、13期を含めて今後どのように展開していくかを考える必要があると思います。元々、みどりの基本計画を改訂した際に、概要版を作成しても読む人は少ないだろうという問題意識から始まりました。そして、2年間をかけて概要版ではない伝え方を選択して1回目の試行として発刊しました。これも継続していくことが大事だと思います。

続いて松戸市が持つリソースですが、これはシティプロモーションです。今年度12月に発刊の晴耕雨読がその一つとなります。

また、活動から成果までの経緯についても記載されており、様々な意見がありましたということが示されています。「松戸しみどりの基本計画」と「シティプロモーション」の主にこの2つの理解促進をしていきました。

緑推進委員会に関連した活動についてですが、部会も含めて関連活動で「みどりのフォーラム」「サロン部会」「緑と花のフェスティバル」など、高橋委員にご協力いただいて活動した成果が記載されております。

11ページでは、緑推進委員会の実験的な試みから派生した活動の「七タプロジェクト」「松戸のみどり再発見ツアー」等が掲載されています。「七タプロジェクト」は「里やま応援団」に、「松戸のみどり再発見ツアー」は、「緑のネットワーク・まつど」に引き継いでいただきました。他にも藤田委員のところで継続的に活動していただいている「松戸花壇づくりネットワーク」や今年も開催する「里やまボランティア入門講座」、「オープンフォレストin松戸」があります。また、「ちば里山アワード大賞受賞記念講演会」ということも行いました。この記念講演会をきっかけに、「ぷらっと子どもの森」の活動が囲いやまの森で始まりました。これは現在月に1回程行っております。

16ページではみどりのサロン部会での活動の記載になります。サロン部会では様々なことをご検討いただいております。

18ページからは記載のとおり引き継ぐべき課題になります。引き継ぐ課題ということで提言にも関係しますが、シティプロモーションを考えていく際に、メッセージブックをどのように活用していくかということです。編集方針をこの委員会で議論して決めましたが、それをベースにして今後どのように進めていくか、ということが引き継ぎとして記載されております。

フォレストマネジメントについては、調査を始め、台帳を作成し、樹林地の重要性や特性を可視化するような話を進めていますが、それを具体的にどう進めていくのかが課題です。

また、サロン部会をプラットフォーム実現に向けたチームということで考えていますが、その設置を検討するということが課題になっております。

多少の修正がございましたけど、よろしいでしょうか。これで第12期委員会の成果活動報告とさせていただきますと思います。

今の軽微な修正含めてこの提言書をもって市長への提言とさせていただきますと思います。

先ほど申しましたように市長がいらっしゃったら、割と自由に端から順番に2年間での活動で感じたことや思いをお話いただくことになります。手交式含めて30分程度お時間をいただいておりますので、一人1分程度でお願いいたします。

会長

では委員会は閉会とし、この後は市長が到着してから手交式となります。2年間に渡りありがとうございました。12期の委員会は、これにて締めさせていただきます。

——閉会——